

病害虫発生予察注意報 第 3 号

病害虫名 ブドウべと病

1 発生予想 ブドウべと病が、今後多発する恐れがある。

2 対象地域 県下全域

3 根拠

(1) 7月上旬の巡回調査では、発生ほ場率及び平均発病新梢率がともに平年よりもやや高かった(図1、図2)。また、平均発病新梢率については、発生の多かった前年と比較しても高かった。

発生ほ場率：16.7% (平年 10.7% 前年 16.7%)

平均発病新梢率：1.1% (平年 0.8% 前年 0.6%)

(2) 7月上旬の巡回調査では、過去5カ年において未確認であった果房への発病が、一部の調査ほ場で確認されている。

(3) 気象庁7月16日発表による向こう1か月の気象は、平均気温が高い確率が50%(平年並30%、低い20%)、降水量は少ない確率が40%(平年並30%、多い30%)と予想されている。雷雨の発生しやすい時期もある見込みで、べと病の発生にやや好適である。

4 防除対策と留意点

(1) 発病後の防除は困難になるので、早期から予防防除を徹底する。

(2) 薬剤散布にあたっては、長野県農作物病害虫・雑草防除基準(平成22年版)に基づき、使用時期や果粉溶脱等の薬害に注意して、薬剤を選択する(参考：表1)。

(3) 早めに袋掛けを実施して果実感染防止を図り、袋掛け後はボルドー液を定期的に散布する。

(4) 軟弱な生育をさせないように窒素過多、水分過剰に注意する。また、新梢管理を徹底し、園内の通気を良くし、薬剤が十分かかるようにする。

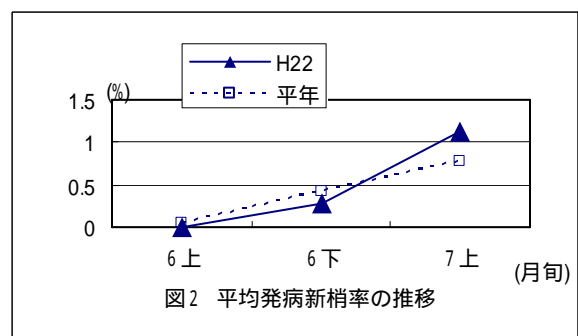
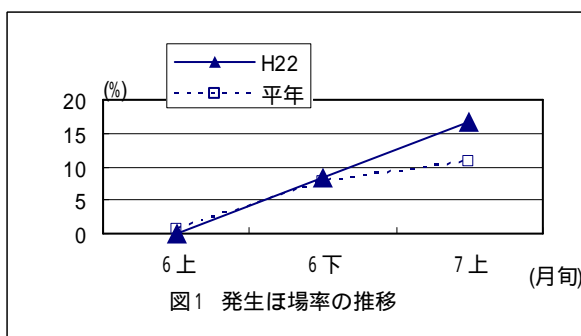


表1 (参考) ブドウべと病に対する主な防除薬剤と使用基準

	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	作物名称
生育期 防除	ストロビードライフロアブル	2000～3000倍	収穫14日前まで	3回以内	ぶどう
	ホライズンドライフロアブル	2500～5000倍	収穫21日前まで	3回以内	ぶどう
	サニバー	800～1000倍	収穫21日前まで	2回以内	ぶどう
	オーソサイド水和剤80	800倍	収穫45日前まで	2回以内	ぶどう
	キノドー水和剤80	1200倍	収穫45日前まで	4回以内(但し、 開花後は1回)	ぶどう
	ランマンフロアブル	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内	ぶどう
の袋 防掛 除け 後	コサイドボルドー	1000倍	-	-	ぶどう
	ICボルドー48Q	25～50倍	-	-	ぶどう
	ICボルドー66D	25～100倍	-	-	ぶどう
	ボルドー液	-	-	-	ぶどう

「巨峰」、「デラウェア」は4 - 4式、加工用ぶどうは4 - 2式を使用する。

長野県病害虫防除所
 担当：宮島明博（所長）
 木曾秀紀（担当）
 TEL：026-248-6471（直通）
 FAX：026-248-6473
 E-mail：bojo@pref.nagano.lg.jp